

2026年3月期第2四半期(中間期) 決算補足資料

2025年11月12日



(東証スタンダード市場 9857)

2026年3月期 第2四半期(中間期)連結決算概要 … P. 3

2026年3月期 連結業績見通し … P. 12

参考資料 … P. 19

2026年3月期第2四半期(中間期) 連結決算概要

(単位：百万円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	前年同期比	2026年3月期 業績見通し
売上高	20,195	21,217	+ 1,022	+ 5.1%	48,500
営業利益	1,087	1,140	+ 53	+ 4.9%	2,860
経常利益	1,118	1,173	+ 55	+ 5.0%	2,920
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	829	774	△ 55	△ 6.7%	1,960

決算の概況

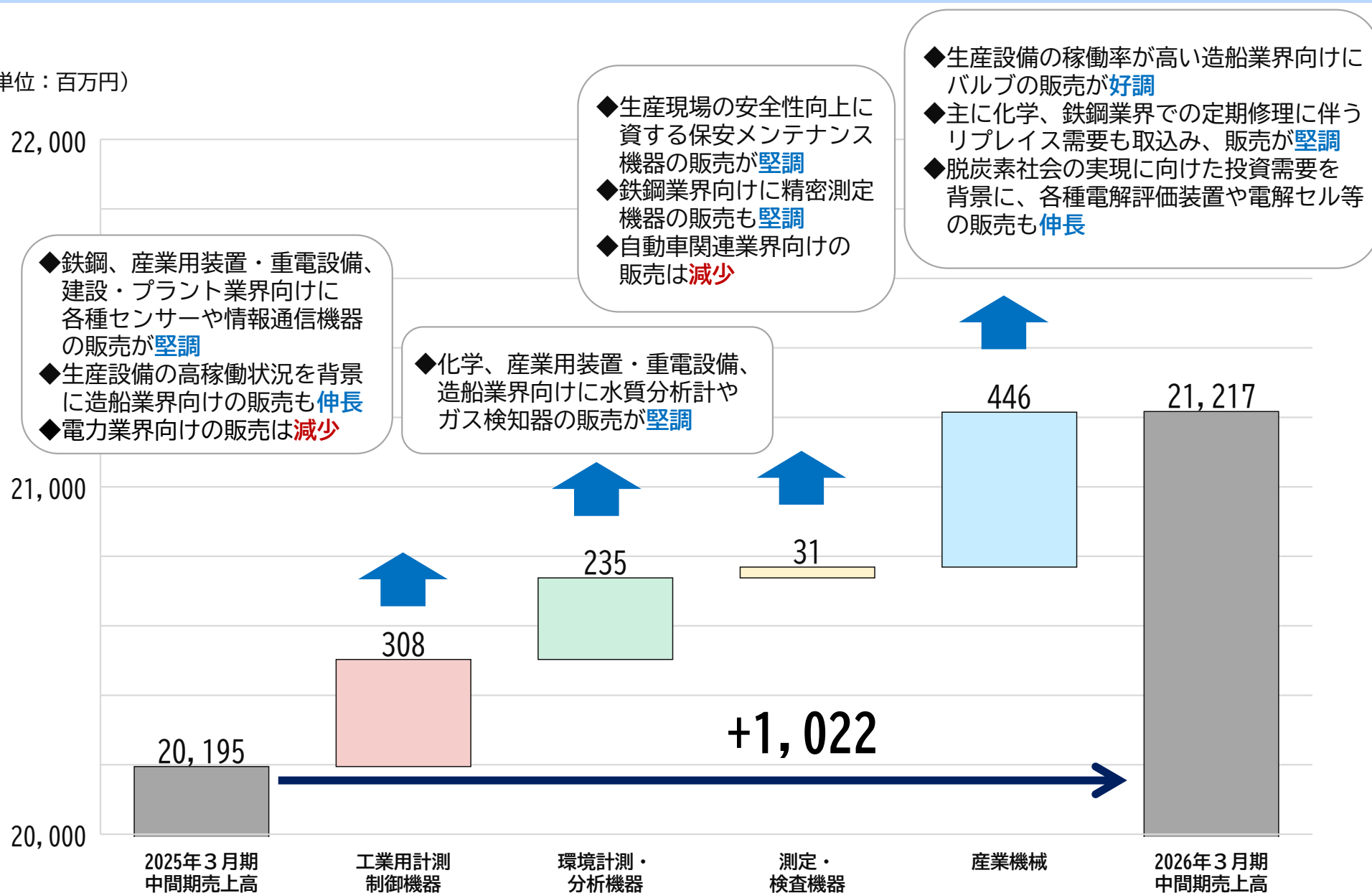
- 社会インフラ分野で活用される特殊車両や各種機器については、引続き一定の需要があるものの、トラックシャーシの出荷遅延や架装工程を伴う車両の長納期化により、一部の受注に遅れが生じました。販売面では、電力業界や製造用機械・電気機器業界向けが減少したものの、主に化学業界、鉄鋼業界での定期修理に伴うリプレイス需要や生産性向上を目的とするデジタル技術を活用した投資需要を取り込み販売が堅調に推移した他、生産設備の高稼働状況を背景に造船業界向けの販売が増加しました。
- 前中間期に特別利益として移転補償金を計上していたことから、親会社株主に帰属する中間純利益は減少しました。

(注) 本資料中の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

品目別連結売上高増減要因



(単位：百万円)



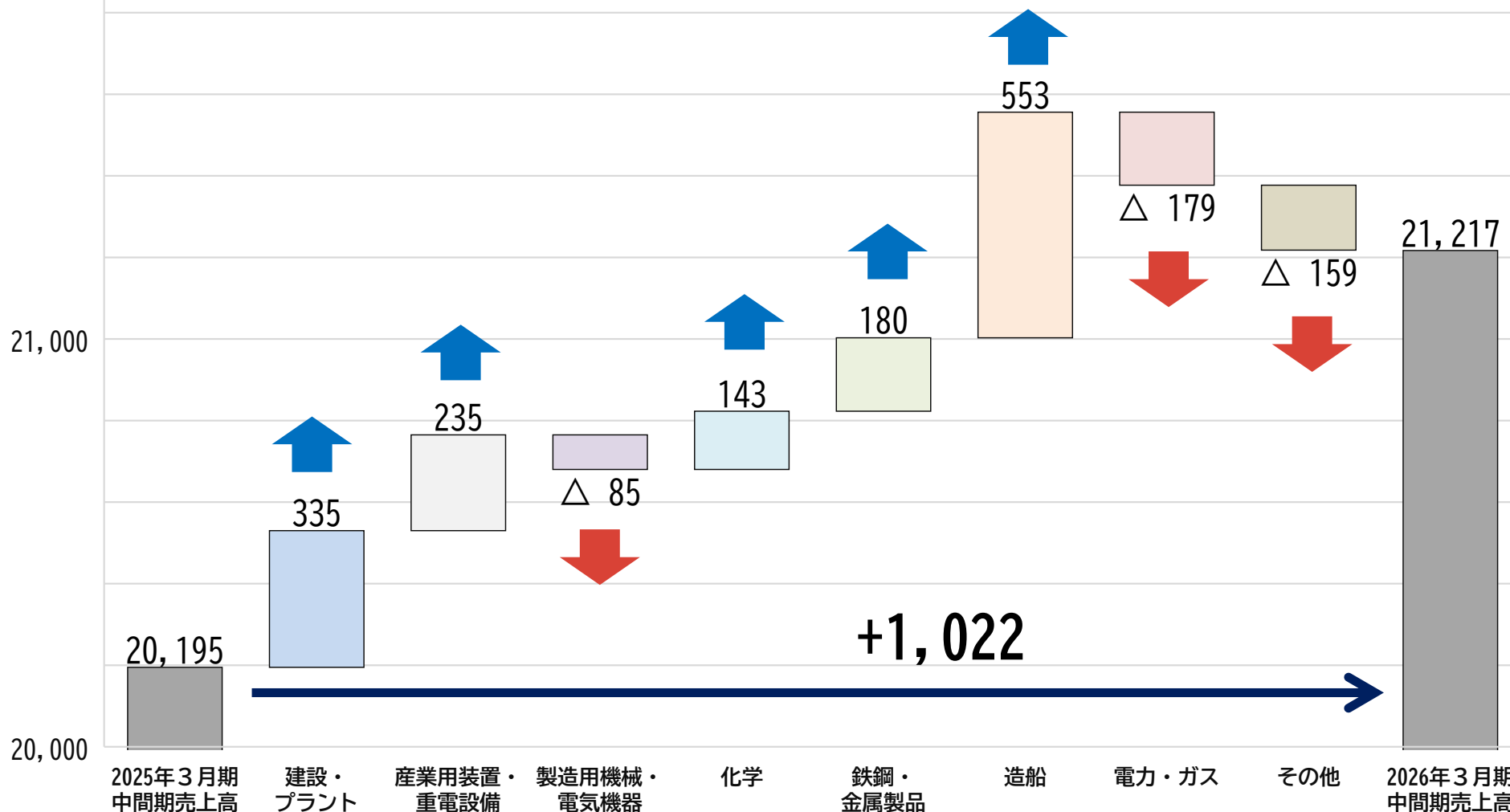
業界別連結売上高増減要因

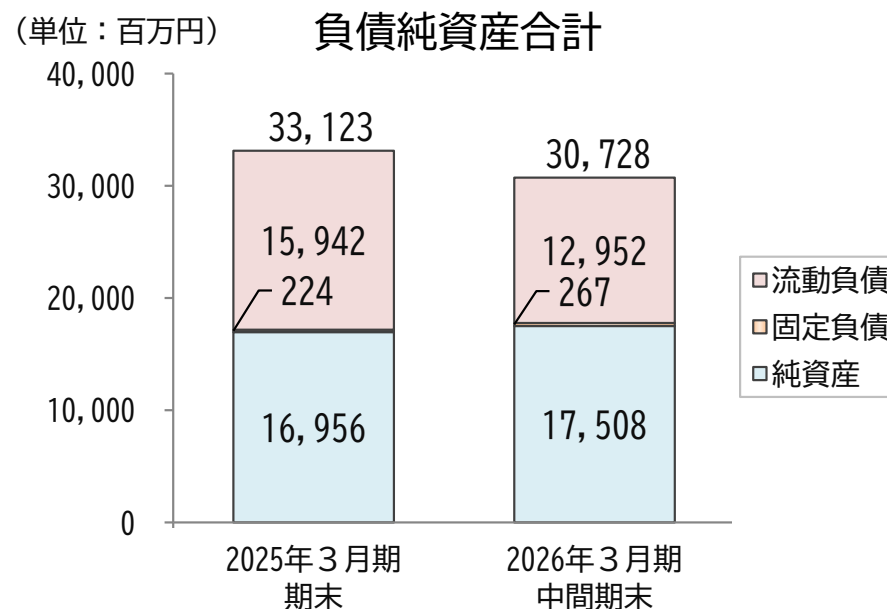
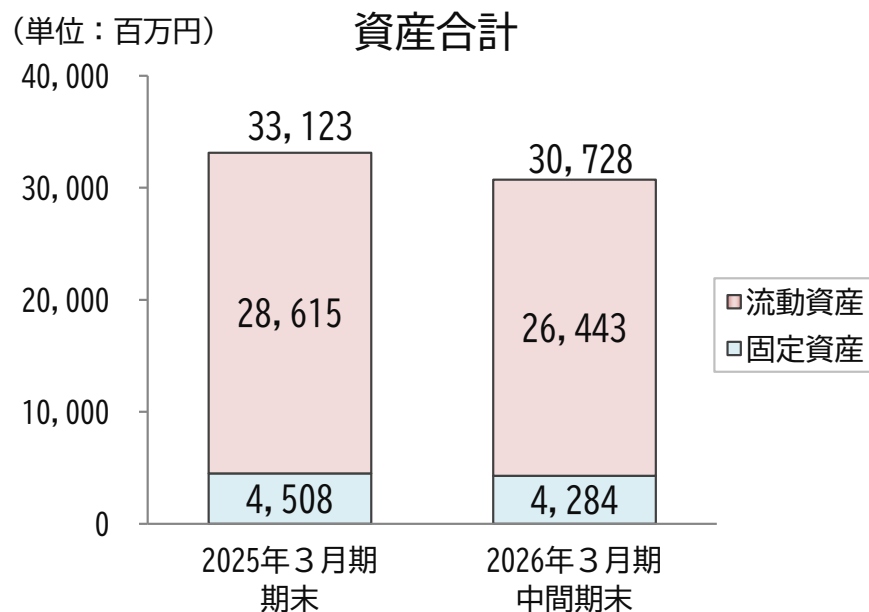


(単位：百万円)

22,000

- ◆主に化学業界、鉄鋼業界での定期修理に伴うリプレイス需要や生産性向上を目的とするデジタル技術を活用した投資需要を取込み販売が**堅調**
- ◆生産設備の高稼働状況を背景に造船業界向けの販売が**増加**
- ◆電力業界や製造用機械・電気機器業界向けの販売が**減少**





2026年3月期中間期 ハイライト（カッコ内は前期比）

資産

【増減の主な要因】

(単位：百万円)

- ◆ 受取手形、売掛金及び契約資産：13,219 (△2,756)
売上債権の回収が進んだことにより減少しました。

負債・純資産

【増減の主な要因】

(単位：百万円)

- ◆ 支払手形及び買掛金：5,007 (△1,453)
仕入債務の支払いが進んだことにより減少しました。
- ◆ 電子記録債務：5,926 (△649)
仕入債務の支払いが進んだことにより減少しました。
- ◆ 純資産：17,508 (+552)
配当金の支払い（284百万円）により減少し、中間純利益（774百万円）等により増加しました。

※ 自己資本比率：57.0%（2025/03時点 51.2%）

【増減の主な要因】

・売上債権の減少	3,384
・税金等調整前中間純利益	1,173
・仕入債務の減少	△2,100
・法人税等の支払い	△616
・その他の流動負債の減少	△407

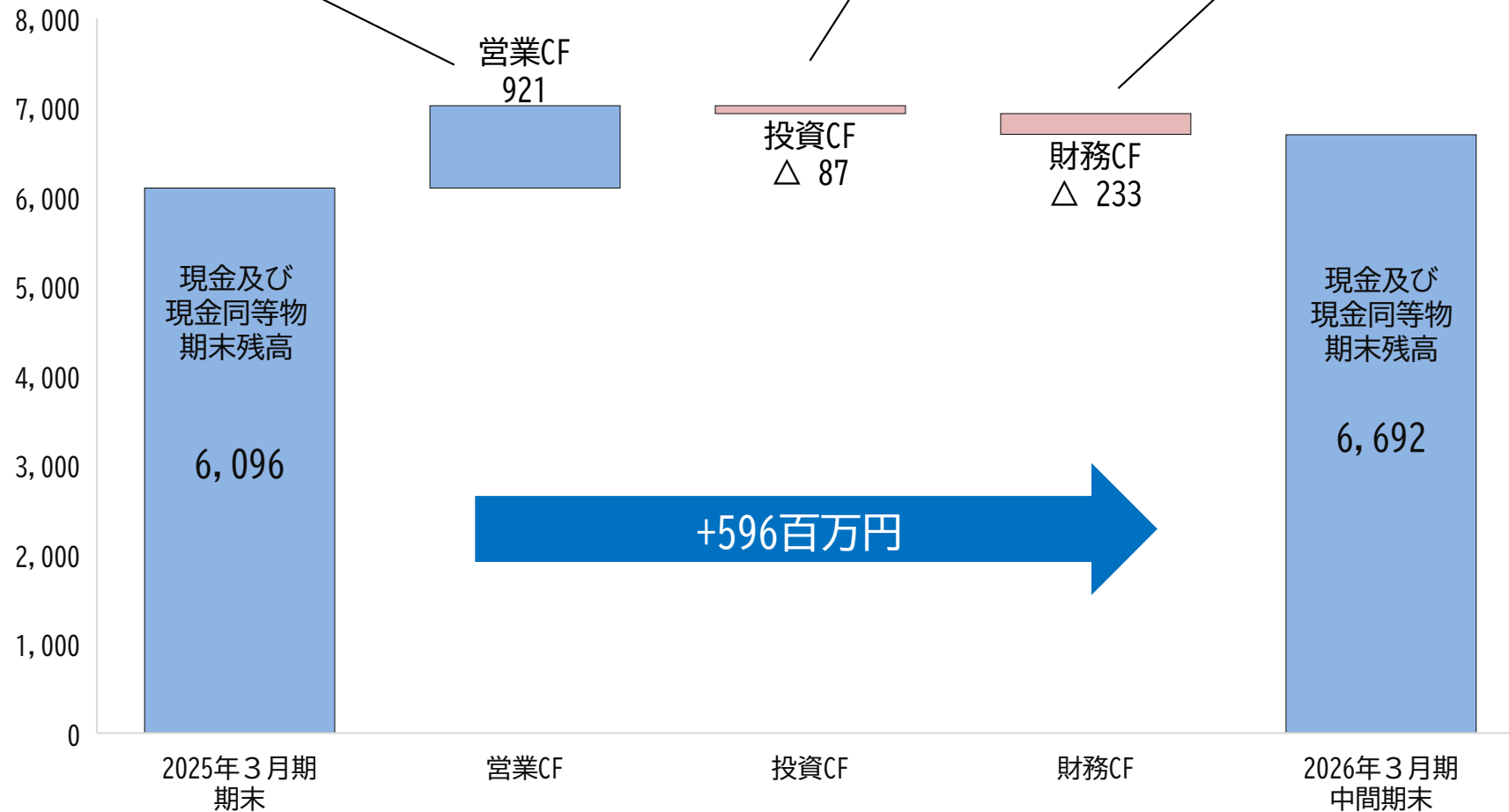
【増減の主な要因】

・有形固定資産の取得	△55
------------	-----

【増減の主な要因】

・長期借入れによる収入	100
・配当金の支払い	△286
・長期借入金の返済	△46

(単位：百万円)



ラジオNIKKEI「この企業に注目！相場の福の神」にゲスト出演しました

このたび弊社代表取締役社長の阿部吉典が、7月8日（火）にラジオNIKKEI「この企業に注目！相場の福の神」にゲスト出演しました。

番組コーナー名：
「この企業に注目！相場の福の神」

放送メディア：
ラジオNIKKEI第1

放送日時：
2025年7月8日（火）11時15分～11時30分



左：代表取締役社長 阿部吉典
右：番組パーソナリティ 藤本誠之様

詳細は番組コーナーウェブサイトをご覧ください。

ラジオNIKKEI「この企業に注目！相場の福の神」

<https://www.radionikkei.jp/fukunokami/20250708.html>

* 音声は、リンク先ページ右「Apple Podcasts」または「Spotify」から7月8日放送分をお聴きいただけます。

個人投資家様向けに会社説明会を開催いたしました

当社は企業間取引を主体とし、独立系商社ならではの幅広いソリューション提案力（「コト売り」）を強みとしています。
今回の説明会では、会場参加とオンライン参加を合わせて150名超の投資家の皆様にご出席いただき、中期経営計画の重点施策であるDX・GX・社会資本整備（社会インフラ市場）、取扱商品、人材育成や株主還元の方針等についてご説明しました。

【説明会風景】



開催日：
2025年8月29日（金）

会場：
みずほインバスター・リレーションズ株式会社
（東京会場およびオンラインで同時開催）

説明者：
代表取締役社長 阿部 吉典

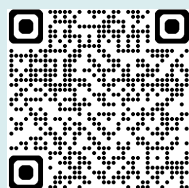
当社のコーポレートサイトをリニューアルしました



■ 当社ウェブサイト

<https://www.eiwa-net.co.jp>

(アクセスはQRコードからも可能です)



当社は2025年7月、コーポレートサイトを全面的にリニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、必要な情報に素早くアクセスできるモダンなデザインを採用し、当社の強み、事業内容、注力ソリューション、IR情報などをより分かりやすくご覧いただける構成に刷新しています。スマートフォン対応も強化し、利便性を向上させました。

【主なリニューアルポイント】

- ・ 会社情報、投資家情報ページの刷新
- ・ サステナビリティページの新設
- ・ 注力ソリューションページの新設
- ・ 業界・製造ライン別のソリューション・製品の提案
- ・ 取扱製品の検索性向上

今後も、投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様に、当社の事業や取組みをより深くご理解いただけるよう、IR情報の充実と情報発信の強化に努めてまいります。

ぜひ新しいサイトをご覧ください。

2026年3月期 連結業績見通し

(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	前年同期比
売上高	47,136	48,500	+ 1,363	+ 2.9%
営業利益	2,786	2,860	+ 73	+ 2.6%
経常利益	2,853	2,920	+ 66	+ 2.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,954	1,960	+ 5	+ 0.3%
1株当たり当期純利益	円 銭 308.79	円 銭 309.70	+ 円 銭 0.91	+ 0.3%

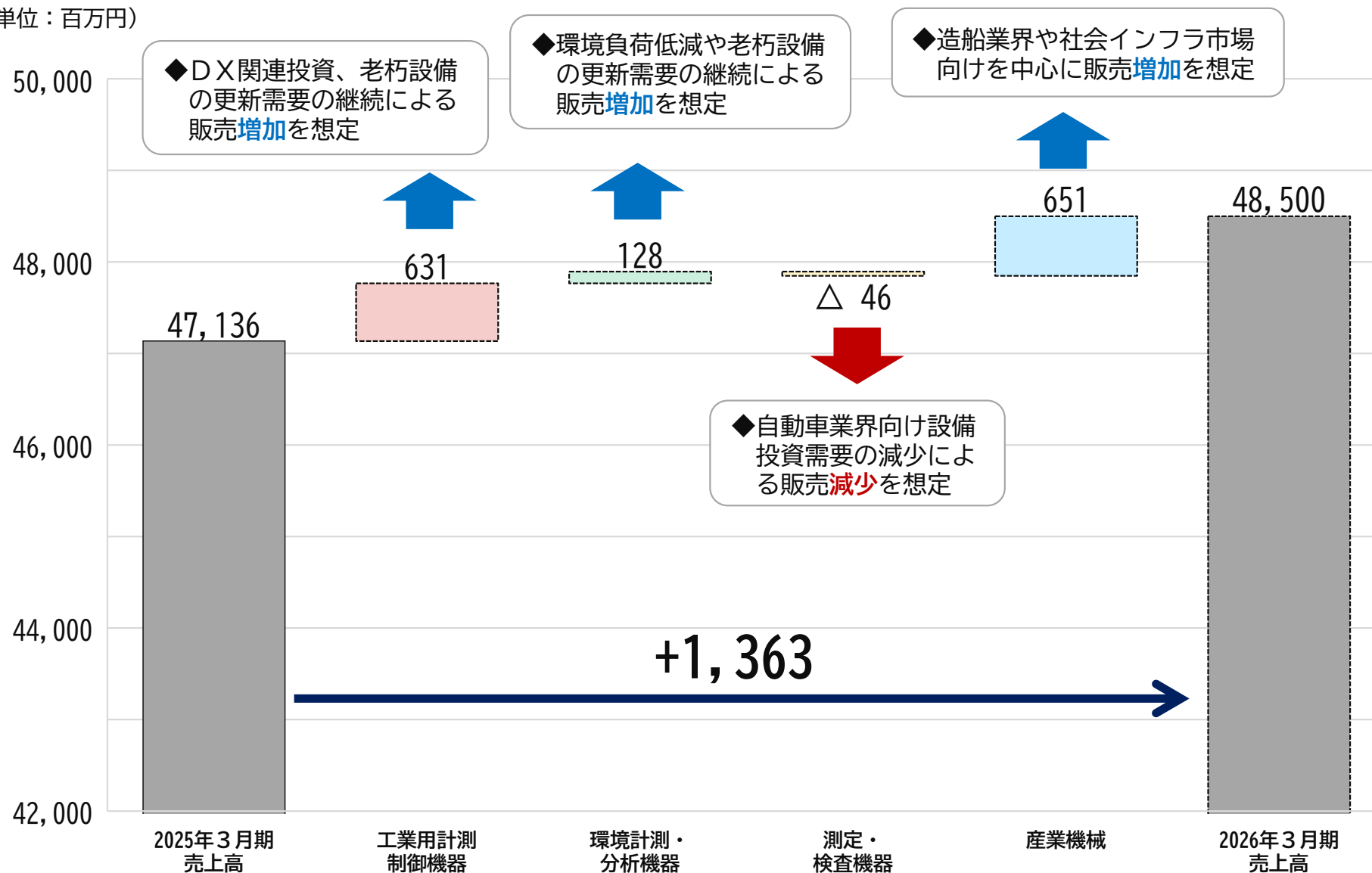
見通し

- 通期連結業績予想につきましては、現時点では2025年5月12日に発表いたしました業績予想通り変更はございません。

品目別連結売上高増減要因（見通し）



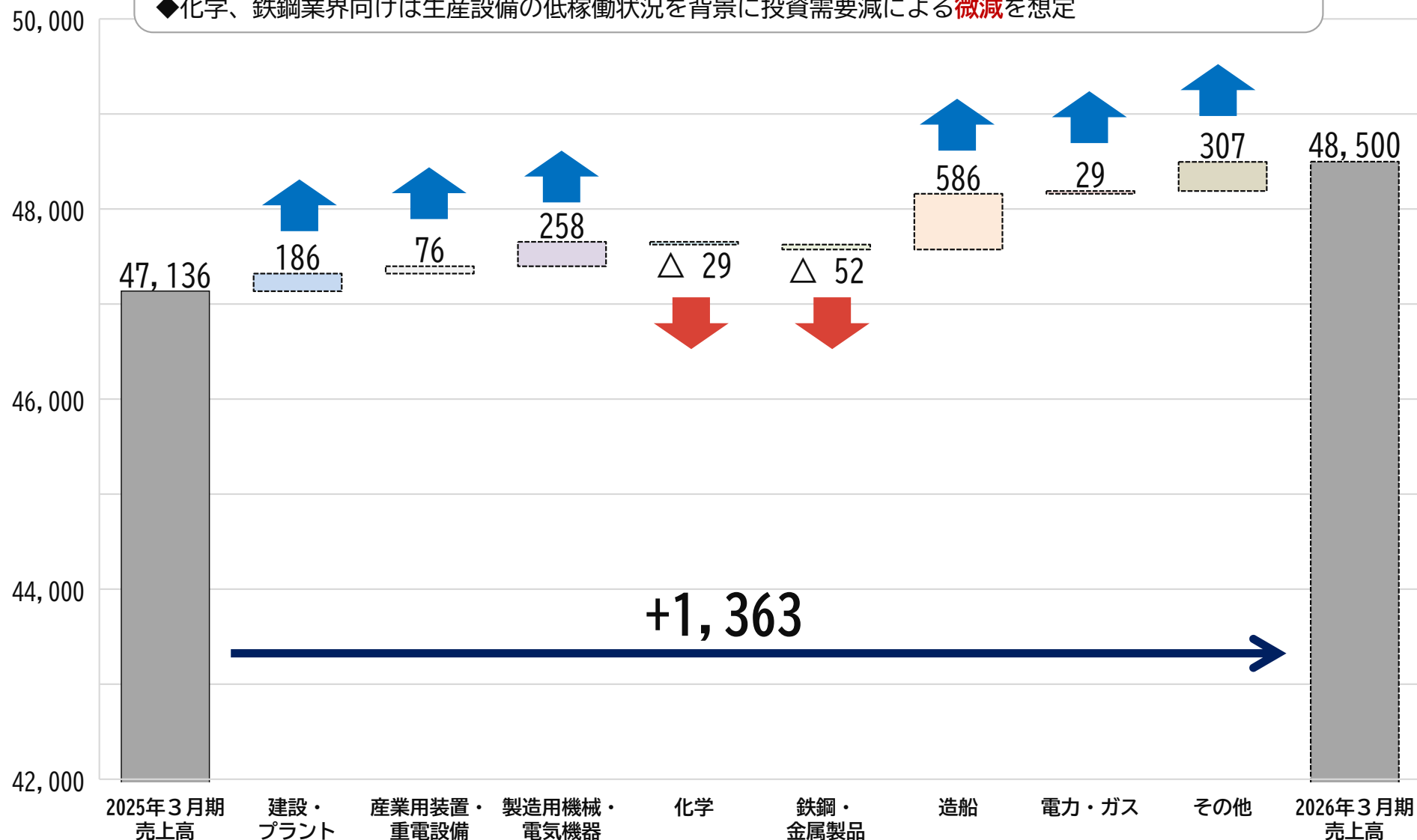
（単位：百万円）



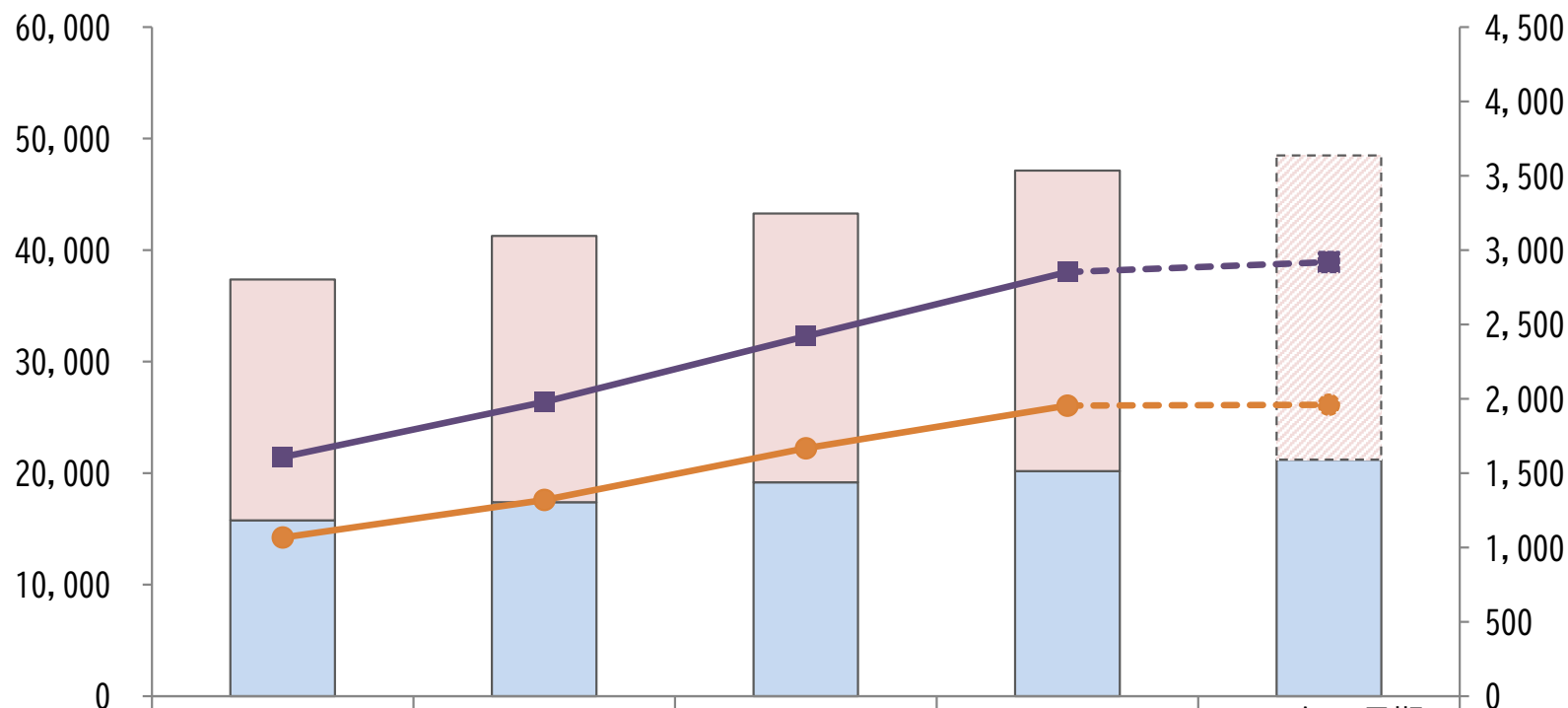
業界別連結売上高増減要因（見通し）

（単位：百万円）

- ◆造船業界向けは設備の高稼働状況を背景に販売**増加**を想定
- ◆国土強靱化をキーワードに社会インフラ市場向け特殊車両は**堅調**な販売を想定
- ◆化学、鉄鋼業界向けは生産設備の低稼働状況を背景に投資需要減による**微減**を想定



(単位：百万円)

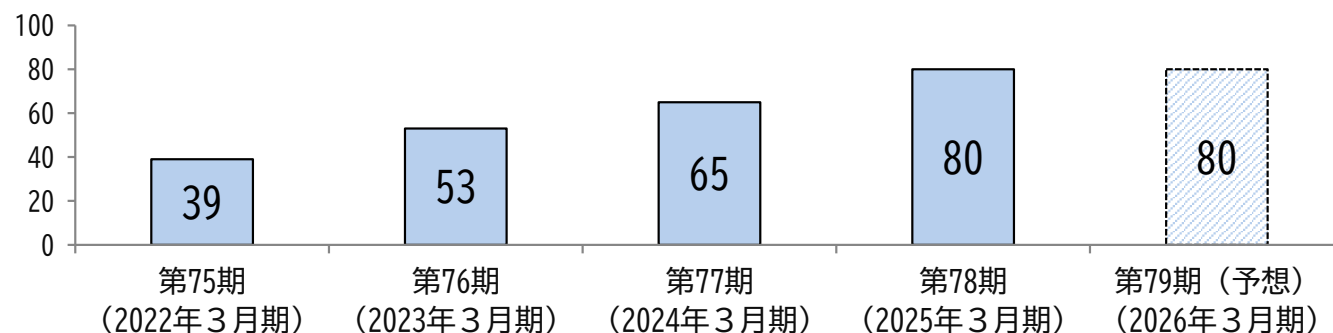


	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期 (見通し)
3～4Q売上高 (左軸)	21,606	23,884	24,102	26,940	27,282
1～2Q売上高 (左軸)	15,771	17,399	19,190	20,195	21,217
売上高	37,378	41,284	43,292	47,136	48,500
経常利益 (右軸)	1,608	1,979	2,421	2,853	2,920
親会社株主に帰属する 当期純利益 (右軸)	1,067	1,320	1,667	1,954	1,960

普通配当

第75期 (2022年3月期)	第76期 (2023年3月期)	第77期 (2024年3月期)	第78期 (2025年3月期)	第79期（予想） (2026年3月期)
39円	53円	65円	80円	80円

(単位：円)



株主優待

1. 対象となる株主様 毎年3月末日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象といたします。
2. 優待の内容 以下の基準により保有株式数と保有年数に応じてクオ・カードを進呈いたします。
毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬に発送いたします。

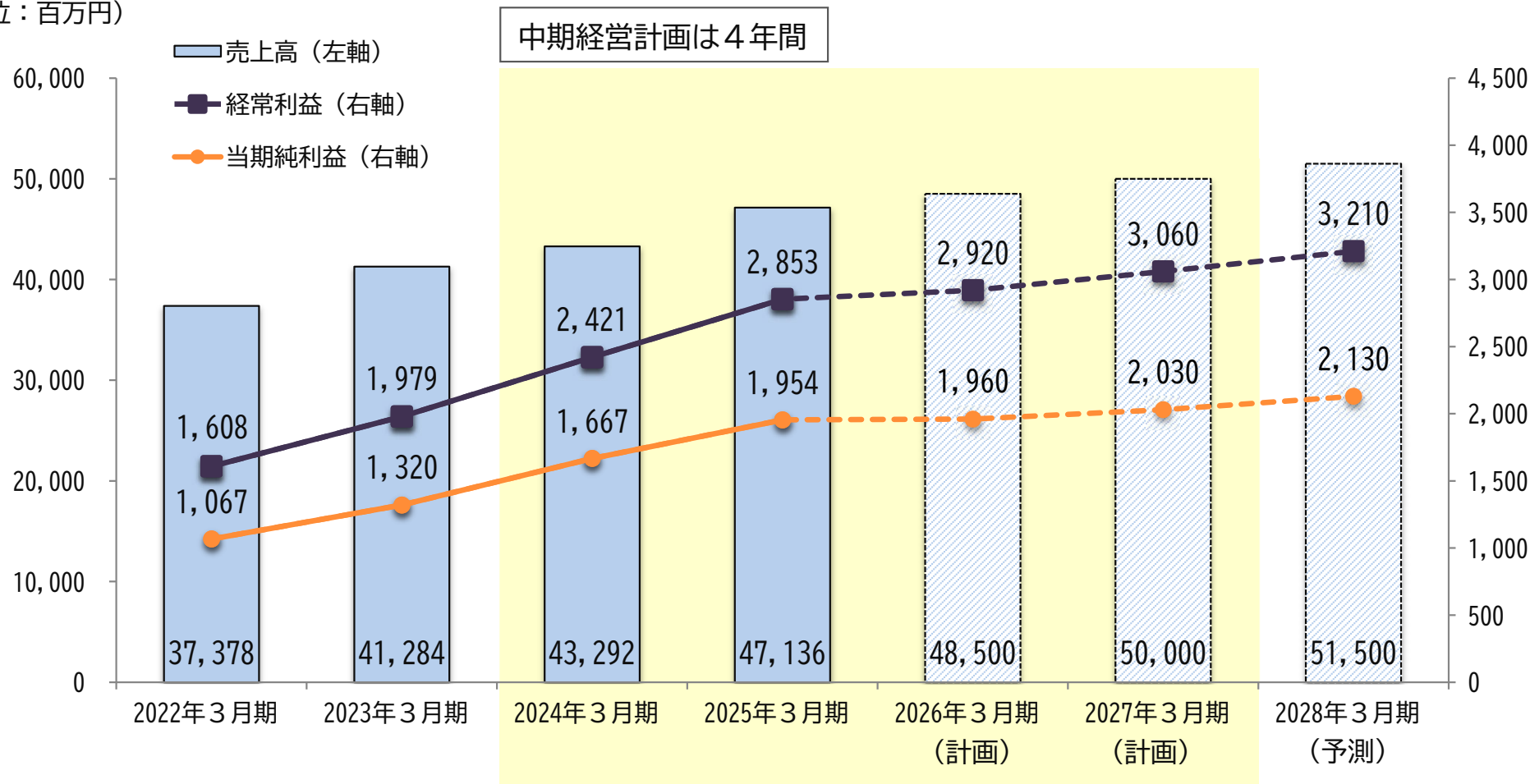
保有株式数	継続保有3年未満	(※) 継続保有3年以上
100株以上500株未満	500円分	1,000円分
500株以上	1,000円分	2,000円分

(※) 「継続保有3年以上」とは、当社株主名簿に同一株主番号で継続して3年以上記載されることとします。

中期経営計画



(単位：百万円)



	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
ROE (自己資本利益率)	8.7%	9.9%	11.2%	11.9%

安定的にROE11%
以上を目指します



2027年3月期
目標

11%以上

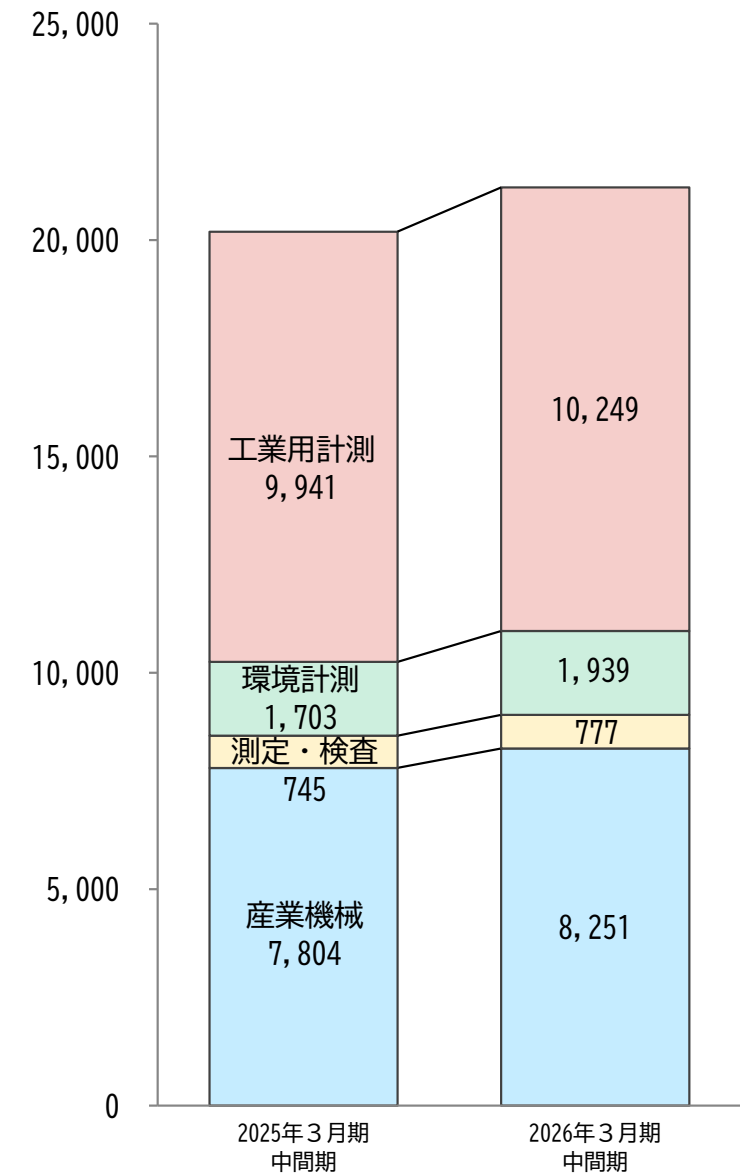
参考資料

品目別売上高実績推移



(単位：百万円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	構成比
工業用計測 制御機器	9,941	10,249	+ 3.1%	48.3%
環境計測・ 分析機器	1,703	1,939	+ 13.9%	9.1%
測定・ 検査機器	745	777	+ 4.3%	3.7%
産業機械	7,804	8,251	+ 5.7%	38.9%
合計	20,195	21,217	+ 5.1%	100.0%

(単位：百万円)





グラフィックレコーダー



電波レベル計



全窒素・全りん測定装置



地震計



複合ガス検知器



IoT予兆保全システム

工業用計測制御機器

環境計測・分析機器

測定・検査機器

産業機械



引張圧縮試験機



顕微鏡



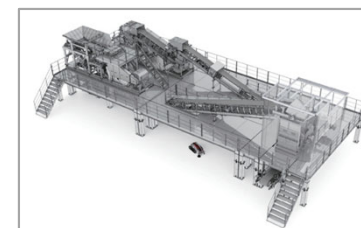
三次元測定機



路面清掃車



ポンプ



リサイクルプラント

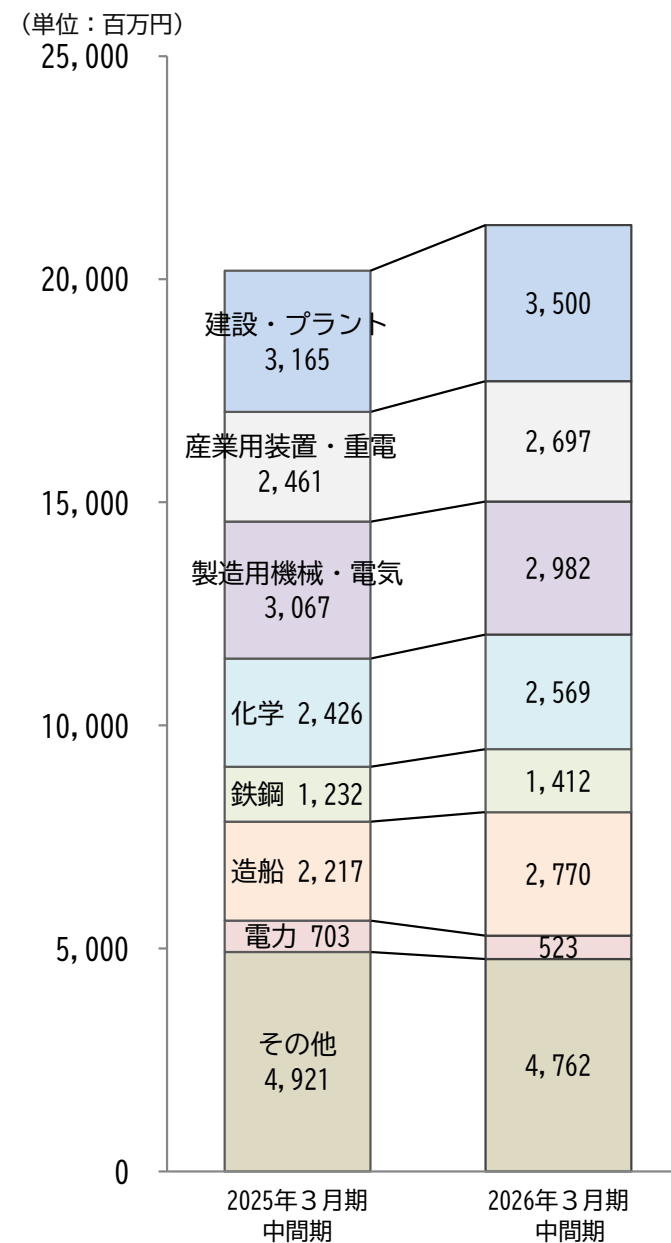


バイオマスリサイクル

業界別売上高実績推移



(単位：百万円)	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	構成比
建設・プラント	3,165	3,500	+ 10.6%	16.5%
産業用装置・重電設備	2,461	2,697	+ 9.6%	12.7%
製造用機械・電気機器	3,067	2,982	△ 2.8%	14.1%
化学	2,426	2,569	+ 5.9%	12.1%
鉄鋼・金属製品	1,232	1,412	+ 14.6%	6.7%
造船	2,217	2,770	+ 24.9%	13.0%
電力・ガス	703	523	△ 25.6%	2.5%
その他	4,921	4,762	△ 3.2%	22.4%
合計	20,195	21,217	+ 5.1%	100.0%



本資料に関するお問い合わせ先



英和株式会社

経営戦略部

TEL : 06-6539-4816

E-Mail : ir-info@eiwa-net.co.jp

URL : <https://www.eiwa-net.co.jp>

(注) この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けるため、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。